

食道腫瘍性疾患の術後合併症予測因子と予後予測因子の解明(多施設共同研究)

➤ 研究（調査）の目的と概略

本研究は食道腫瘍性疾患の術後合併症や予後予測因子を同定することで、今後の診療における至適な手術適応や術式選択、周術期治療を明らかにし、食道腫瘍性疾患の予後改善・診療に貢献することを目的としています。

➤ 研究（調査）の方法

2015年1月から2024年10月までに九州がんセンター消化管外科、または共同研究機関（飯塚病院・九州大学病院・九州医療センター）にて食道腫瘍性疾患と診断され食道切除を施行された患者さんの診療情報をもとに術後合併症や予後に関わる因子について解析します。

➤ 研究（調査）の参加施設

（研究代表者）飯塚病院 外科 中ノ子 智徳
（共同研究機関）九州がんセンター 消化管外科
九州大学病院 消化器・総合外科／九州医療センター 消化器外科

➤ 調査期間

2024年 12月 1日～ 2029年 10月 1日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

上記期間に、消化管手術（食道癌手術）を受けた患者さんが対象になります。診療・術中に得られたデータを集めて解析します。患者さんのデータは、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

今回の研究の実施にあたっては、九州がんセンター倫理委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は2029年10月1日までです。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査へのご協力の如何にかかわらず、利益や不利益が及ぶことはありません。データの使用をお断りになる場合には本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

➤ お問い合わせ先

研究責任者：独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
消化管外科部長 木村 和恵

住所：〒811-1395 福岡県福岡市南区野多目3-1-1
電話：092-541-3231 （代表） FAX：092-542-8503